

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.41 2011.1.10



福まち通信

菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX011-887-7006
URL <http://kikusui-net.jp>

賀春

謹んで新年のお喜びを申し上げます

平成二十三年元旦

菊水地区福祉のまち
推進センター運営委員会

皆さん、明けましておめでとうございます。
「福まち」の運営委員長をお引き受けしてから早いもので六年を経過しようとしています。この間、皆様にはいろいろと無理なお願いをいたしましたにもかかわらず、快くご協力くださいまして有難うございました。
ことに、昨年は老人見守り活動について研修会を開くことができました。キット配布を実施された町内会や、その体験発表された民児協の方々には何よりありがたく存じております。また、「福まち通信」「よつ葉のクローバー」につきましては、編集委員の努力により月刊で発行を続けております。今年もふれあい交流会や高齢者の見守り活動の実施を民生委員の方々と一緒に汗を流し、お互いのきずなを深めたいと思っています。また、ネットワーク会議に所属する各機関が、地域にあって同じ目線で仕事に取り組みたいと夢見ております。皆様、今年もよろしくお願ひします。



菊水地区福祉のまち
推進センター運営委員長

細野 明敏



民生・児童委員委嘱状伝達式

12月1日、白石区民センターにおいて民生委員・児童委員および主任児童委員に、厚労大臣と札幌市長からの委嘱状が伝達されました。

民生委員は非常勤・特別職の公務員であり、尚且つ福祉に関する相談を受けたり、専門機関を紹介するなどの仕事をする公的なボランティアでもあります。

任期は3年で12月1日に一斉改選が行われます。この日は328人の民生委員に宮川区長から委嘱状が伝達され、区長からの挨拶や白石社会福祉協議会長か

らの激励の言葉を受けた後、全員で「民生委員・児童委員信条」を朗読し、決意を新たにしました。

菊水地区の民生委員さんを紹介します

菊水地区では民生委員・児童委員40名と主任児童委員3名の方々に委嘱状が渡されました。伝達式終了後、民生委員・児童委員協議会の総会を行い、役員を選考を行いました。その結果、会長に鈴木利勝氏が選出されました。その他の役員は右の写真説明のとおりです。主任児童委員は後列の三氏です。

菊水地区は、東、西、南、北、上町地区の5地区に分かれています。それぞれの地区の民生委員を写真でご紹介します。

民生委員制度は今年で94年目



東地区(5名) 敬称略 ◎役員○印は新人
後列左から 阪口 ○吉田 ○助光
前列左から ◎山田 鈴木会長 ◎三浦

民生委員の仕事

長い歴史のある民生委員制度ですので、知らない方はいないと思いますが、この機会にご紹介します。

●民生委員・児童委員

○福祉に関する心配事の相談を受け、解決のお手伝いをします。

○一人暮らしのお年寄りへの声掛けや安否確認をします。

○お年寄りの健康状態や世帯状況を訪問調査します。



菊水民児協役員等

主任児童委員 左から繩野 鈴木 三田村
坂田幹事長 菱田副会長 鈴木会長 大久保副会長 工藤会計

大正6年(西暦1917年)、岡山県で「済世顧問」、翌年大阪府で「方面委員」(その後全国でこの名称が使われる)、北海道でも少し遅れて大正11年に「保導委員」が誕生しています。第二次世界大戦の後、民生委員・児童委員という名称に変わりましたが、これらの人たちは現在の民生委員制度の前身となる人たちです。世の中がいくら変わっても、営々として庶民の味方として博愛精神を貫き通してきた、これらの人たちにご期待し感謝するほかはありません。



西地区(13名欠員2) 敬称略 ◎役員○印は新人
後列左から 井上 ○鎌田 ○杉田 山崎 風間 (欠席黒沢)
前列左から 上野 ◎工藤 鈴木会長 ◎伊藤 加藤

○各種の福祉サービスや生活福祉資金の貸付、悪徳商法への対応などに関する情報提供と行政や専門機関の紹介、連絡を行います。

○民生委員は児童委員を兼務していて、子供や子育てに関する相談と支援を行います。

●主任児童委員

子どもに関する問題を専門的に担当する主任児童委員が、菊水地区には3人います。

○児童虐待の早期発見や対応に関して、学校や児童相談所などと連携します。

○民生委員・児童委員などと連携し、いじめや不登校などの問題を抱えている児童や家庭からの相談を受け、援助します。

●上記のような相談事がある方は、お気軽にご相談してみてください。貴方の地区の担当の民生委員を知りたいときは、下記にお問い合わせください。

○白石区役所保健福祉課 861-2400

○菊水まちづくりセンター 811-9445

民生委員には法律上の守秘義務がありますので、相談の内容や支援活動については個人情報やプライバシーの保護に配慮した活動を行います。安心して相談してください。

民生委員は福まち運営委員会の重要メンバー

札幌市は平成7年に「地域福祉社会計画」を制定し、その中で「福祉のまち推進センター構想」を発表しました。それに基づき、各地域に「福祉のまち推進センター運営委員会」が設けられました。菊水地域でも同7年に運営委員会を組織し、町内会や各種関係団体と共同して、今日まで福祉のまちづくりに努力を重ねています。

特に、民生委員・児童委員はその活動の重要メンバーであり、ひとり暮らし高齢者や体の不自由な方々の個別援助活動にとっては、地域住民による「福祉推進員や住民協力員」と協働してその任に当たることが必要とされているところです。

子育てサロンで大活躍



サンタの登場です

民生委員は菊水地区の子育てサロンの運営に大変貢献されています。

菊水地区会館で行われている「どんぐりころころ」では、民生委員さんたちが主体的に運営に当たっていますし、菊水やよい児童会館での「子育てサロン」では、菊水各地区の民生委員さんが交代でお手伝いされています。

また、上白石小学校で行われている「ぶりんぶりん」では、民生委員さんが運営委員の重要なポストを占めています。

このように、民生委員さんは今や地域にとってはなくてはならない存在なのです。



南地区(9名) 敬称略 ◎役員○印は新人
後列左から 南里 井元 鈴木 ○藤井 藤原
前列左から ◎千葉 ◎菱田 鈴木会長 ◎山内 (欠席西村)



北地区(8名) 敬称略 ◎役員○印は新人
後列左から 中野 下出 平中 五十嵐 ○三田村
前列左から ◎小川 ◎武田 鈴木会長 ◎大久保



上町地区(8名) 敬称略 ◎役員○印は新人
後列左から 五田 ◎菅原 縄野 薄井 (欠席丸山)
前列左から ○蠣崎 ◎坂田 鈴木会長 ○池田



年末ジャンボ!もちつき大会

12月5日(日)午前10時から上白石小学校体育館で、恒例となっている「もちつき大会」が開催されました。

菊水上町連合町内会の主催で、「上白石小おやじの会」が強力にバックアップしています。早朝から役員の方々が会場に集まり、前日から仕込んでいたもち米の搬入や会場の設営で大わらわです。大勢の親子連れが会場を埋め尽くし、その数150人を優に超える状態でした。



車いすでもベッタッコ

主催者側のリーダーは、連合町内会の池本副会長で、上白石小学校のPTA会長やおやじの会の会長を務めたことのある地域活動のベテランです。

この餅つき大会には、地域の福祉施設である、「こまちの郷菊水」



ウ〜ン重たいぜ



まだまだ元気じゃ

と「ハートの家伍番館」の皆さんも参加しました。去年も参加していてすっかり雰囲気には溶け込んで、自分も一緒にと杵を持つ人や、車いすでも杵を試してみるなど、積極的に楽しんでいました。

民生・児童委員協議会前会長

山田 八郎

昭和63年9月、民生委員の委嘱状を身の引き締まる思いで頂いてから、今日まで8期22年余が経ってしまいました。



この間、多数の先輩の皆さんに支えられたお蔭で大過なく職責を全うし、このたび無事に退職することができました。改めて多くの方々から心から感謝申し上げます。

任期中、昭和から平成に時代が変わり、福祉の基礎構造も措置から契約へと変わっていきました。民生委員の仕事も福祉行政機関の補助的な仕事から、地域福祉の直接的な担い手として変化を遂げました。少子・高齢社会の出現により、高齢者の生活実態の把握が民生委員の仕事として委託され、子育て支援のための「子育てサロン」の運営にも携わることもなっています。

退任にあたり、これからは、一人の住民の立場で、菊水地区の福祉の増進のためのお役に立てればと考えております。今後ともよろしくお願いいたします

民生・児童委員協議会会長

鈴木 利勝

このたび、山田会長の後を受けて菊水地区民生委員・児童委員協議会会長を引き受けることになりました鈴木でございます。



私は、あくまでも山田会長が敷かれてきた路線を活動基本として引き継ぎながらも、新たな思いの実現に向けて、周りの人たちの理解と協力をいただきながら努力していきたいと考えています。

少子・高齢時代を迎えて福祉に対する需要は量的にますます増大し、かつ質的な充実が求められてきています。その中であって、民生委員に求められる住民からの要望や期待の重さをひしひしと感じております。地域の社会資源を円滑に活用し、効果的な地域福祉を構築していかなければならないと考える次第です。

そのためにも、現在2名の欠員がありますが、早急に対応しスタートしたいと思っています。

なにとぞご協力ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

去年の流行語大賞にノミネートされた言葉に、「無縁社会」という言葉があります。血縁、地縁それに職場縁など、むかし我々の生活の総てに深く関わってきたものがなくなり、ザラザラとした感覚の社会が残ってしまったとは思いたくありません。今年こそ人と人が温かい体温に包まれる社会になることを願いましょう。(枝元編集員)